



VOL. 70

## 【目次】

新任職員のご紹介 . . . . . P2

労災について ~ 医事課 張替英史 ~ . . . P5

CT 検査(64ch)になって変わったこと

~ 放射線科 相曽紀宏 ~ . . . P6

お知らせ . . . . . P8

# 新任常勤医師のご紹介

## 眼科

山本 達郎 (ヤマモト タツロウ) 平成14年東京医科大学卒業

専門分野 : 白内障

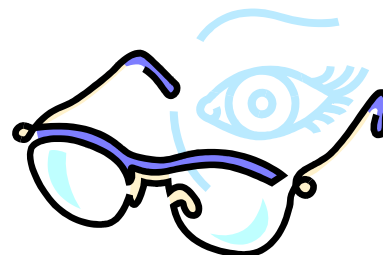
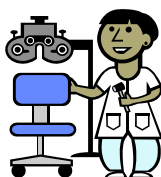
網膜硝子体疾患

ぶどう膜炎

資格 : 医学博士

日本眼科学会眼科専門医

眼科 PDT 研究会認定医



皆さまこんにちは。4月1日に西東京中央総合病院に入職しました眼科の山本達郎と申します。

平成14年東京医科大学卒業後、東京医科大学病院、戸田中央総合病院、中野総合病院、立川総合病院(新潟県長岡市)で臨床および研究に従事してまいりました。私の祖父が23年前まで田無町2丁目で耳鼻咽喉科を開業していたこともあり、田無という街は幼少期からとても馴染みのある場所です。そのような地にこの度赴任しましたのも何かのご縁だと感じております。

さて、当院眼科の現状について少し触れたいと思います。当科では約半年の期間にわたり、前任の医師の都合などもあり手術は行っておりませんでした。地域の皆さまには、何かとご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。白内障手術については、既に4月第2週から再開しております。現状は、入院していただいて手術を行っております。登録医の先生方のクリニックで、全身状態が思わしくない患者様でも日帰り白内障手術を希望される方がおられましたら、先生方のご要望に沿って、今後、当科でも日帰り手術の体制を作れたらと考えております。また、硝子体手術に関しましては、手術器具などの体制が整い次第開始したいと思いますので、その際には再度お知らせさせていただきます。地域の皆さまのお役に少しでも立てればと考えておりますので、西東京中央総合病院眼科をどうぞ宜しくお願いします。

### 診療内容

眼科疾患全般の治療を行っています。

白内障：必要に応じて手術を行います。

緑内障：視野検査にて経過観察し点眼薬による治療を行います。

糖尿病や高血圧による網膜症：定期検査を行い、必要に応じて網膜光凝固術を行います。

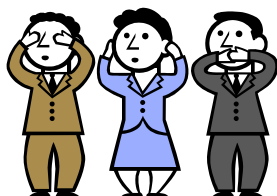
# 新任常勤医師のご紹介

## 耳鼻咽喉科

高田 大輔 (タカダ ダイスケ) 平成12年東京医科大学卒業

専門分野 : 鼻・副鼻

資格 : 日本耳鼻咽喉科学会認定専門医



2011年4月より耳鼻咽喉科の常勤医として赴任いたしました。先月までは東京医大の茨城医療センターに3年間勤務していました。一人常勤というポストは初めてですが、医師として11年間の経歴で培ったあつい気持ちを持って、患者様の立場に立った温かい診療を心がけていきたいと思っております。

耳鼻咽喉科一般の診療を行う他、急性疾患の入院治療や手術治療を積極的に行い地域の皆様に少しでも貢献していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

### 診療内容

耳鼻咽喉科一般：耳科疾患

鼻副鼻腔疾患

咽喉頭疾患

頭頸部腫瘍

睡眠時無呼吸

### 重点的に取り組みたい病診連携

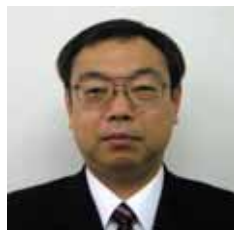
各種検査、診断、治療(処置・手術)の必要な患者様のご依頼、ご紹介を受けたいと思っております。

当院にて治療後、紹介元にて診療をして頂ければと考えております。

# 新任事務長のご紹介

## 事務長

櫻井 訓 (サクライ サトシ)



謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私こと 4月1日付けをもちまして、医療法人社団東光会 西東京中央総合病院の事務長に就任いたしました。

つきましては微力ではございますが、職員とともに地域医療に誠心誠意努力する所存でございますので、今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

# 新任副事務長のご紹介

## 副事務長

上原 祐二 (ウエハラ ユウジ)



4月より西東京中央総合病院に赴任し、この広報誌「そよかぜ」に携わらせていただく事になりました副事務長の上原と申します。

患者さま並びに近隣住民の方々には、日々何かとご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。そして、近隣登録医の先生方にはいつも大変お世話になり、心より感謝申し上げます。

さて、この度当院の広報誌「そよかぜ」が発行回数40号を節目にリニューアルを行うことと致しました。情報をより充実させ、皆様のお役に立てるような広報誌を作成していく所存でございます。

病院理念の「心のある医療」を念頭におき、この広報誌「そよかぜ」に載せて、地域の皆様と連携をより深めることが出来るよう努力してまいりたいと思います。

# 労災について

～医事課 張替 英史～



## 労災とは？

労働者災害補償保険法という法律に基づく制度であり、その目的は **工作中又は通勤途中による労働者の負傷、疾病、障害又は死亡に対して保護をするため、必要な保険給付・治療費の負担を行う。** 労働福祉事業として、被災労働者の社会復帰の促進、当該労働者及びその遺族の援護（休業の補償や障害の認定） 適正な労働条件の確保を図り、労働者の福祉の増進に寄与することです。

今回は について紹介します。

## 【業務災害】とは？

工作中、労働関係から生じた災害業務に起因して発生した災害を**業務災害**といいます。

例 飲食店の厨房係が、調理をしている際に調理器具で手を負傷。  
建築現場にて、片付けをしている時、鉄筋に気が付かず、腕を強打してしまったなどです。

## 【通勤災害】とは？

労働者が住居から会社への出勤、また、会社から住居への退勤の中で生じた災害を**通勤災害**といいます。

例 会社へ出勤途中、最寄りの駅まで自転車で行った際に転倒などです。

## 請求の手続き



(注) 療養の費用を請求する場合には、第2回目以降の請求が離職後である場合には、事業主による請求者への証明は必要ありません。

ご不明なことがございましたら総合受付にてご相談ください！！

# CT検査(64chになって変わったこと)

~放射線科 係長 相曾 紀宏~



みなさんの中にはCT検査を受けたことがあるかたもいらっしゃると思いますが、今回は64chMDCTになって変わったことを中心に紹介させていただきます。



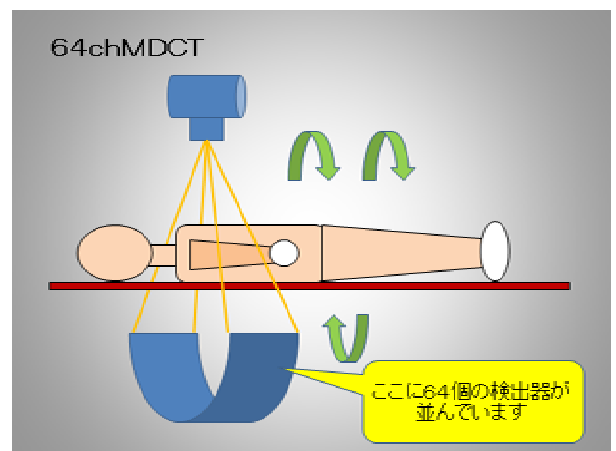
上の左側の写真が当院のGE社製ライトスピードVCT(64chMDCT)と右側の写真が同時に導入された2台の画像解析ワークステーションです。

64chになって何が変わったかといいますと、とにかく早く撮影することができます。このCTは心臓(冠動脈)を撮影するために開発されたものですが、そのために開発された機能が他の撮影にも活かれています。

## 64chになってできるようになったこと

- \* 一度に最大64枚の画像が撮れる
- \* 0.625ミリのスライス画像が撮れる  
(ルーチン検査で普通に撮影して)
- \* 体軸方向40ミリがカバーできる  
(0.625ミリ×64スライス)
- \* 一回転最速0.35秒で撮影できる
- \* 心電同期ができる

つまり、広範囲のスライス領域を薄いスライス厚(鮮明な画像)でとても早く撮影できるようになりました。この新しい技術が私たち放射線技師の助けとなり、何よりも患者様の負担の軽減に繋がっています。



## 患者様の負担軽減

### \* 撮影時間が短い

胸やお腹の撮影時の息止めが短くて済みます。

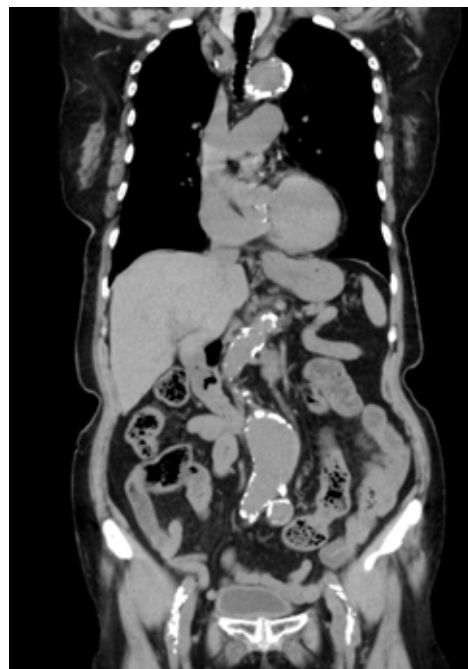
胸部でしたら3～4秒、胸部から腹部まで全身撮影しても10秒かからずに撮影できます。息止めが苦手な方でも安心して検査ができます。動いてしまう小さなお子様でも大丈夫です。

### \* 薄いスライス厚

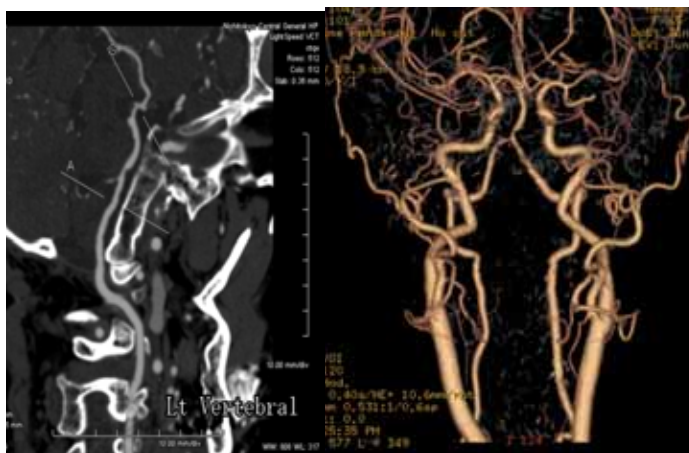
ルーチン検査で撮影を行っても0.625ミリの薄いスライスデータが得られます。何か病変があったり、別方向の画像が必要な時、撮り直しをせずに画像を再構成することで薄いスライスの画像や別方向の画像が作れます。(右の画像は胸腹部を前額断に再構成したものです)

### \* 造影剤を少なくする

血管系の検査にはなりますが、目的の部位を早く撮影できるので使う造影剤の量が少なくできます。造影剤は体に害のあるものではありませんが、腎機能の悪い方でも検査を受けていただけます。



心臓 3D画像



内頸動脈 3D画像

## 画像解析

一度に大量の薄いスライスデータを取得できるので、そのデータを利用して色々な画像解析を行うことができます。

心臓の血管(冠動脈)や脳血管の3D解析を二台のワークステーションで行っています。

CT検査は難しい検査ではありません。何かご不明な点がございましたら、お気軽に放射線までお尋ねください。

# お知らせ

## 西東京市休日診療について

今後の当院の休日診療日は下記の通りです。  
9:00～17:00内科、小児科、外科の診療をお受けいたします。  
**急患については、随時受付致します。**

平成 23 年 5 月 29 日(日)

平成 23 年 6 月 26 日(日)

平成 23 年 7 月 18 日(日)

## そよかぜ バックナンバー

2009年2月 vol.26	虚血性心疾患に対する検査法について
2009年3月 vol.27	虚血性心疾患に対する治療法について
2009年4月 vol.28	虚血性心疾患治療後の再発防止について
2009年5月 vol.29	不整脈について
2009年6月 vol.30	下肢静脈瘤について
2009年7月 vol.31	足の動脈硬化・閉塞性動脈硬化 ASO について
2009年8月 vol.32	変形性膝関節症と治療について 脳と嚙下体操について
2009年9・10月 vol.33	腰部脊椎狭窄症について
2009年11月 vol.34	頸椎症について
2009年12月 vol.35	大動脈解離について
2010年1月 vol.36	研修医制度について
2010年2・3・4月 vol.37	脳卒中について(その1)
2010年5月 vol.38	脳卒中について(その2)
2010年6・7月 vol.39	脳卒中について(その3)

**ご覧になりたい方は総務課職員までご連絡ください。**

**発行所** 医療法人社団東光会 西東京中央総合病院  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町 2 4 19  
TEL 042 464-1511[代表] FAX 042 - 467-8922  
URL <http://www.daiichih@nishitokyo-chuobyoin.jp>

**発行人** 院長 種子田 斎  
**編集長** 副院長 木屋 啓一

発行日 2011年5月